



特別増資 500250 生協子ども基金 500252 にて毎週受け付けています、ご協力の程宜しくお願い致します。

COOP JOSO NEWS LETTER 2018 7-1

2018. 6. 18

facebook やって
います!

COOP JOSO News Letter

常総生活協同組合
発行 / 生協広報G



【ものづくり・人づくり・地域づくり】2018 年度活動テーマ ～素材を活かしてわが家の味～

6/9 第 45 回通常総代会 ～ダイジェスト (1) ～

第 23 期役員を選任

新役員体制で運営スタートします!!



第 45 回総代会の結果

【第 45 回通常総代会】

(日 時) 2018 年 6 月 9 日 10:00 ~ 13:00 (場 所) 取手ウェルネスプラザ 多目的ホール

(出 席) 出席総代数 98 名 (本人出席 42 名、書面出席 56 名)

(議 長) 鍛冶田 芙己子、浦谷 利江、簗輪 真実 (※議長は採決に加わらず)

(議事録署名人) 松内 貴代子、佐野 利子

【議決結果】

- | | |
|--------------------------------|-----------------|
| 【第 1 号議案】 2017 年度活動報告・決算報告承認の件 | 可決承認 (賛成94 反対0) |
| 【第 2 号議案】 2018 年度活動方針、予算案承認の件 | 可決承認 (賛成95 反対0) |
| 【第 3 号議案】 役員報酬承認の件 | 可決承認 (賛成95 反対0) |
| 【第 4 号議案】 組合員のみなし脱退承認の件 | 拍手で承認 |
| 【第 5 号議案】 役員選任の件 | 拍手で承認 |
| 【第 6 号議案】 議案議決効力発生の件 | 拍手で承認 |



選任された第23期役員

理事	コース名	班名	地区/役割	名前	略歴
1	C-3a	松前台P伊藤	常勤	伊藤 博久	重任
2	Z-2a	守谷250	常勤	木内 和彦	重任
3	Z-4a	守谷100	常勤	矢島 裕也	重任
4	F-5a	二の宮P増本	つくば	増本 綾子	重任
5	B-2a	天王台P佐藤	我孫子	佐藤 登志子	重任
6	E-4a	さくら台P西村	牛久	西村 静江	重任
7	F-5a	小野崎P新堀	つくば	新堀 扶三子	重任
8	I-5a	倉掛P塩見	つくば	塩見 直子	再任
9	A-3a	みずき野P谷田川	守谷	谷田川 純子	新任
10	D-4a	ひたち野P中丸	牛久	中丸 晴子	新任
11	G-4a	荒川沖東P中安	土浦	中安 和代	新任
12	B-3a	大柏P中山	守谷	中山 恵都子	新任
監事	コース名	班名	地区	名前	略歴
1	J-1a	寺田-65	取手	小島 いみ子	重任
2	A-5a	稲荷前P菅沼	つくば	菅沼 和子	重任
3	B-1a	P鈴木 英敏	取手	鈴木 英敏	新任

○新役員体制

総代会内にて第1回理事会が開催され、理事長、副理事長、専務理事、常務理事と、代表理事選任について互選され、発表されました。

理事長	増本 綾子
副理事長	佐藤 登志子
専務理事 (代表理事)	伊藤 博久
常務理事	木内 和彦

退任役員 お疲れ様でした!

○退任役員

柳町 弘美	戸井田 正子
野口 由美子	樋口 とも子
稲葉 明子	佐藤 理絵
石川 裕子	



退任された役員さんに花束が贈られました。涙山のご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

新役員あいさつ (1) 新理事長

理事長 増本 綾子



この度、第23期理事長に就任させていただきました、つくば地区の増本です。

私と常総生協の出会いは、ちょうど10年前、東京からつくばに越してきて、間もない頃でした。当時は(2008年)、「地産地消」が浸透し始め、農産物が豊富なこの地で、自分も地産地消に貢献できると、誇らしげな気分でした。加入時にお試しでいただいた、おかべやさんの豆腐と岩瀬牧場の豚肉は絶品で、「これぞ、ホンモノ！」と、即加入したのは、今日につながる前触れだったのでしょう。

他生協しか知らなかった私は、供給便で届くのが便利！と言うだけの単なる消費者、お客様でした。絶品な商品はあるけど欠品が多く、スーパーだったら、返品対象であろうものも、お値引きという塩対応。もう止めようかな～と考えていました。そんな私でしたので、「自家製みそ、作ってみませんか？」と幾度となく薦められても、面倒くさそう・・・と、子どもが幼く手がかかることを理由に断り続けていました。

しかし、近隣幼稚園でのみそ作りがあり、みそ作り経験ゼロにもかかわらず、図々しくお手伝いに参加させて頂いたのです。その時の「こんなに簡単にできるの？」と言う驚きと、自家製みそで作られた豚汁の美味しさが、我が家のみそ作りのきっかけとなり、組合員であり続けました。

手作りの味、素晴らしさを覚えてまもなく、未曾有の震災が起きました。当時のNewsLetterに「わたしたちは決して地産地消をあきらめません！」とありました。生産者・組合員を含め、「食」を守る、つまり、常総生協の理念は「食は生命」ですから、それは「生命(いのち)を守る」という強い決意と受け取りました。その後、常総生協が取り組んできたことは、「この生協の組合員である私は何ができるか?」「できる事からやってみよう！」と、私の生協に対する考えを一新させました。

組合員活動や、二年間の理事活動を経て、生産者さん、業者さん、職員さん、先輩組合員さんとの出逢いは、「地産地消に貢献」「これぞ、ホンモノ！」が安易な考えであったこと、欠品や塩対応に不満を抱いたことを今では恥ずかしく思うほど、私を「常総生協の組合員」に成長させてくれました。感謝の意を込めて恩返ししようと思います。理念である「食は生命」を伝え続け、次世代に継承すること。そして、その理念を分かち合える仲間と一緒に、一步ずつ、これからの常総生協を歩み続けたいと思います。

至らぬことも多々あるかと思いますが、どうぞ、今までと変わらぬお力添えをお願い申し上げます。よろしくお願いいたします。

